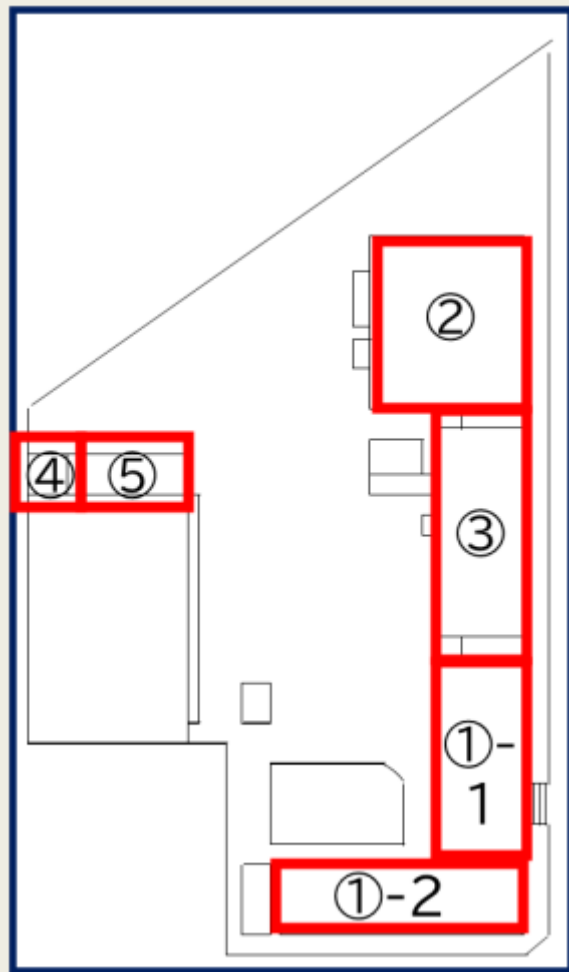


第 4 回 再編整備後の木川南小学校 校地活用検討会議

令和 7 年 8 月 22 日
大阪市淀川区役所

建物（校舎）の状況

木川南小学校



※R10年度時点

番号	築年数※	構造	規模	延床面積
①-1	68年	鉄筋コンクリート造	地上3階 塔屋1階	753㎡
①-2	67年	鉄筋コンクリート造	地上3階	874㎡
②	53年	鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨造	地上3階	990㎡
③	50年	鉄筋コンクリート造	地上3階 塔屋1階	1,052㎡
④・⑤	52年	鉄筋コンクリート造	地上1階	37㎡

- ・令和5年度実施のマーケットリサーチでは、地域コミュニティ機能と防災機能の確保が可能となる既存建物を活用した教育施設の提案が複数ありました。
- ・そのため、まずは既存建物を利用した統合後の学校校地の活用検討に資するよう、令和8年度に実施予定のマーケットサウンディングに向け、現在の建物の状態を調査をいたします。
- ・令和7年度には、老朽度調査をはじめ、法適合調査・アスベスト調査の実施をしています。

活用に向けた建物調査・アスベスト調査について

建物調査（老朽度調査・法適合調査）

老朽度調査

- 学校校舎などの建物をダイヤモンドカッターでコンクリートに穴をあけ、コンクリートのサンプルを採取し、圧縮強度および中性化の進行度を確認。コンクリートのサンプルは、各階の壁から3箇所採取。
- 採取したサンプルは、公的機関にて圧縮強度試験(JIS A 1107)、中性化深さ試験(JIS A 1152)を実施。
- 調査結果が出るのは、令和7年度末頃。

法適合調査

- 学校校舎などの建物において、建築当時法律や条例に適合していたものの、現在では適合していない箇所（既存不適格箇所）が無いかを、現場踏査や測量により調査。
- 建物の貸し出し等をする場合は既存不適格箇所を改修する必要があるため、建物を使用した学校校地活用をする場合は、学校統合後の令和10年度以降改修工事が必要となる。
- 調査結果が出るのは、令和7年度末頃。

アスベスト調査

- 学校校舎などの建物にアスベストが含有されていないか、また含有されている場合は、その含有量を調査。
- アスベスト調査の検体場所を確定する事前調査と、検体場所から建物を採取し分析する分析調査を分けて行い、調査結果が出るのは令和7年度末頃。

活用にあたっての条件

統合後の学校校地活用にあたり、地域及び検討会議委員のみなさまより頂いた意見を反映し、既存建物の活用の有無に関わらず、マーケットサウンディング及び事業者公募については、以下の条件により検討いたします。

- ① これまで、小学校は地域防災や地域コミュニティの拠点として機能を担ってきた。
- ② しかし、学校の周辺において、地域活動及び防災拠点機能を担える大規模な公的施設が無く、代替施設を確保できる見込みがない。



● 投票所機能の確保

上記①②の理由により

- ➡ 統合後の学校校地を投票所として使用できるような場所の確保

● 地域コミュニティ機能の維持

上記①②の理由により

- ➡ 盆踊りなど地域活動ができるような場所の確保
- ➡ 統合後の学校校地での、地域等による定期的な防災訓練の実施

● 防災拠点機能の確保

上記①②の理由及び、木川南・西中島両地域の人口構成65歳以上が計1,756人（約14%）、避難行動要支援者数計471人（令和6年12月1日時点）であり、統合先の木川小学校の避難所収容人数が1,139人と、両地域のすべての避難者を受け入れることは困難であるため

- ➡ 大規模災害時における地域住民の命を守るための、防災拠点機能の確保

大阪市他区における活用事例

生野区 もと御幸森小学校跡地



画像引用：いくのパークについて
<https://ikuno-park.jp/about/>

◇いくのコーライブズパーク

「つなぐ」「まなぶ」「たべる」「はたらく」「つどう」「たのしむ」「つたえる」「まもる」という8つの包括的機能をもつ地域拠点

●防災拠点機能の確保

「施設災害対策マニュアル」を作成し、体育館や特別教室を災害時に避難所として開放。パーク内の飲食店では、避難場所だけでなく、炊き出し機能も。

●地域コミュニティ機能の維持

運動場の芝生化し、子どもから高齢者まで開かれた場に。盆踊りなど地域イベントにも協力。

浪速区 もと日本橋小学校・同附属幼稚園跡地



画像引用：生野区HP「もと日本橋小学校・同附属幼稚園用地活用事業に関する活用事業者募集（公募型プロポーザル方式）にかかる事業予定者を決定しました」

<https://www.city.osaka.lg.jp/naniwa/page/0000648852.html>

◇インターナショナルスクール

学校法人大阪中華学校による、0歳児から高校生段階までの切れ目ない教育が受けられるインターナショナルスクール

●防災拠点機能の確保

体育館や特別教室を災害時に避難所として開放。区役所および地域と連携し、区役所・地域で避難所の開放が可能。

●地域コミュニティ機能の維持

祭り等の地域活動のためのスペースとして体育館やグラウンド、特別教室等を提供。